

しあわせのために

新年度予算総額135億6314万円（前年度比9.4%減）



花咲け 共創のまちづくり

総括質疑 ― 施政の方針を問う ―

第6次総合計画に むけて

小口尚司議員

施策の評価は

問 第5次総合計画の10年をどのように総括し評価しているのか

町長 各分野に一定の効果が見られてきた。人口減少には全庁横断的な施策を行ってきたが、残念ながら歯止めがかかっていない状況と認識している。

計画の特徴は

問 第6次総合計画にどのような特徴を持たせたのか。

町長 地域資源を生かし、相互補完し連携するまちづくりをコンパクト・プラス・ネットワークと位置づけ、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱としている。急速な人口減少に対応するため、

住環境の整備等による白鷹版「職住育近接」を表現することで、20代から30代の子育て世代の転出抑制と移住促進をはかり、定住人口を確保したい。

今後のかじ取り役は

問 10月に町長の任期が満了。今後は、

町長 町民の皆様への幸せの向上のため、次期も取り組ませていただきたいと思っております。

共創のまちづくり

関千鶴子議員

合意形成は

問 鮎貝地区地域交流商業施設や白鷹の塔「雄飛」の処分に関して、合意形成はあったのか。

町長 商業施設に関しては鮎貝地区から要望を受け、相当時間をかけて話し合い、その上で判断をした。白鷹の塔については



功績を讃えて

熟考の末、危険回避を判断し、町民の代表である議員の方々に歴史を刻印し展示する旨、ご報告申し上げた。また、町民の皆様からの意見はまちづくり座談会やパブリックコメントなどでいただいた。

商業への取り組みは

問 当町の商業は、人口減少等により厳しい状況だが、取り組みは、

町長 暖冬少雪の影響等も含め、様々な支援をする。事業継続のためにも、町による無利子の融資を早急に進めたい。